

河津町まち・ひと・しごと創生総合戦略

河津町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、今後5ヵ年のまち・ひと・しごと創生に関する目標や施策を総合的に実施するために必要な事項を定めています。

目指すべき将来の方向

基本目標1 町内における安定した雇用を創出する

本町の基幹産業である観光産業の活性化や農林水産物をはじめとする物産の付加価値を高めるなど地域産業の振興を図り、若者の就業の場の確保や働く意欲のある子育て中の女性や健康な高齢者の就業支援に取り組みます。

数値目標	目標の算出根拠等	基準値	目標値
観光入込客数	「新南伊豆のすがた」の観光入込客数	140万人 (平成26年)	160万人
新規就労創出数	制度利用実績	—	10人

基本目標2 河津への新しい人の流れをつくる

地域資源の磨き上げや多様なライフスタイルのニーズに応え、首都圏等から本町への移住をはじめ、観光で訪れる人を増やすなど、新たな活力を町内に呼び込みます。

数値目標	目標の算出根拠等	基準値	目標値
人口の社会増減数	RESAS*(地域経済分析システム)	△53人 (平成21~25年の5年間)	△20人 (平成27~31年の5年間)

*RESAS：産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステム。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若者が希望する時に結婚でき、安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目のない支援や仕事と子育てを両立できる環境の整備に取り組みます。

数値目標	目標の算出根拠等	基準値	目標値
出生数	市区町村別推計ワークシート	280人 (平成21~25年の5年間)	246人 (平成27~31年の5年間)

基本目標4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

人口減少に対応した都市機能の集約化や地域の拠点づくりへの取組み、地域コミュニティの力の向上などを図る一方、住み慣れた地域での安心した暮らしを続けることのできる持続可能なまちづくりを目指します。

数値目標	目標の算出根拠等	基準値	目標値
バス利用者数	自主運行バス、町営バス利用者	48,035人 (平成26年度)	50,000人
ミニ集会場	調査結果(予定)	—	3カ所

基本目標1 町内における安定した雇用を創出する

1. 観光産業の活性化と雇用確保

- (1) 着地型観光の推進
- (2) 自然や温泉等観光商品・サービスの充実
- (3) 広域観光の推進

2. 物産の付加価値化・6次産業化による雇用機会の創出

- (1) 農林水産物の高付加価値化の推進
- (2) 担い手の確保・育成と経営体の強化
- (3) グリーン・ブルーツーリズムの推進

3. 若者、女性、高齢者の就業促進

- (1) 若者、女性の就業・創業支援
- (2) 元気な高齢者の就業支援

主な事業

- 河津町観光協会の法人化。
- 観光・地域拠点としての道の駅の整備。
- 河津桜まつりの充実やブランド力の強化。
- 映画・ドラマなどのロケーション受け入れを実施し、新たな誘客を図る。
- 広域連携によるジオパークの推進。
- 地元宿泊業や飲食店等との連携による地産地消の推進。
- 事業者との連携による6次産業化への取組み支援。
- ふるさと案内人や観光ボランティアなど人材の育成。

基本目標2 河津への新しい人の流れをつくる

1. 移住の促進

- (1) 移住希望者へのきめ細かな支援
- (2) 移住体験等の支援と受け皿づくり

2. 新しいオフィスや事業所の誘致

- (1) サテライトオフィスの誘致

3. 多様な人材とのマッチング

- (1) 多様な交流の拡大

主な事業

- 田舎暮らしを望む若者への情報発信と移住相談の実施。
- 空き家の有効活用によるお試し住宅の整備。
- 地域住民や地域おこし協力隊による移住コンシェルジュと交流の場づくり。
- サテライトオフィスの立地に向けた調査研究。
- 新規交流事業の推進。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1. 安心して結婚・出産・子育てできる支援

- (1) 総合的な結婚支援
- (2) 妊娠・出産・子どもの健康づくりの支援
- (3) 子育て支援の充実

2. 魅力ある教育環境の整備

- (1) 郷土を誇りに思う人材の育成

主な事業

- 出会いや交流のきっかけとなるイベントの誘致・開催。
- 妊娠に関する正しい知識の情報提供と相談体制の充実。
- 母子保健サービスの充実。
- 子育てサロン事業の充実と地域子育て支援拠点の整備。
- 待機児童の解消と放課後児童クラブの充実。
- 郷土の自然や歴史、産業について学ぶ教材の充実。

基本目標4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

1. 特徴ある拠点形成とネットワーク

- (1) 特徴ある拠点の形成
- (2) 各拠点をつなぐネットワーク

2. 地域社会の活性化

- (1) 持続可能な地域づくり

3. 安心・安全に暮らせる地域づくり

- (1) 健康で安心して暮らせる地域づくり
- (2) 暮らしの安全確保

主な事業

- 子育て文化コミュニティ機能の中心拠点整備。
- 交通事業者と連携した公共交通の利便性の向上。
- 地域住民が主体となった地域づくりの促進。
- “河津大好き”が集まる交流の場としてのコミュニティカフェなど拠点づくりと交流の促進。
- 高齢者の自立した生活の支援と安心を提供する地域包括ケアシステムへの取組み。
- 避難地・避難路の確保など災害発生時の被害最小限化。